

台風からのうねりについて

—うねりは、台風より速くやってきて、台風より長く残ります—

海水浴シーズンには、例年台風からのうねりの影響とみられる事故が発生しています。台風周辺の高波は、「うねり」として遠くまで伝わります。「うねり」により、海岸付近で急に波が高まったり、流れが強まったりする事があります。台風が遠くにあつて天気が良い場合でも、海岸付近では「うねり」に気をつけてください。

宮古島地方気象台

Miyakojima Local Meteorological Observatory

～守ります・・・人と自然とこの地球～

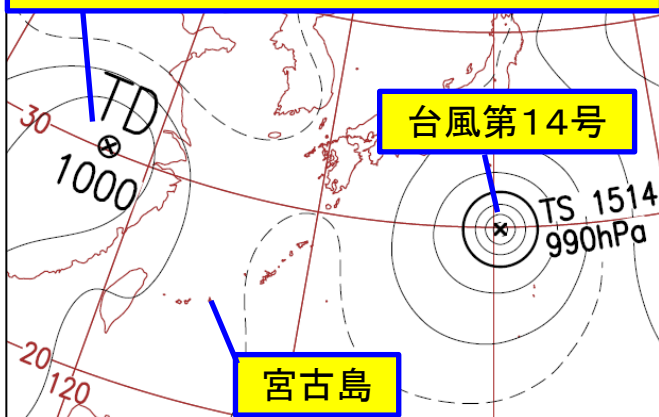
台風経路図や各種防災情報は、
宮古島地方気象台ホームページ
「台風関連の情報」をご覧ください。



○台風通過後の「うねり」による海難事故の事例

(2015年8月10日午後、宮古島市伊良部渡口の浜で、観光の親子ら3人が死亡。)

熱帯低気圧(台風第13号から変化)



2015年8月10日09時の地上天気図。

- ・台風からのうねりは、時速30～50kmと、台風自体よりも速く伝わる事が多いです。
- ・宮古島地方の沿岸の海域では、台風第13号から変わった熱帯低気圧と、台風第14号からの「うねり」を伴っていたと推定されます。
- ・事故当時、波浪注意報や波浪警報は発表されていませんが、現場付近の海域は2メートル程度の波があったと推測されます。

写真は、2015年8月20日の渡口の浜。

- ・うねりは、台風より速くやってきて、台風より長く残ります。
- ・波やうねりの大きい海岸では、海に入っただけのレジャーは避け、「身の安全を最優先」してください。

宮古島地方気象台

検索

宮古島地方気象台ホームページ
<http://www.jma-net.go.jp/miyako/>

お問い合わせ先: 宮古島地方気象台 TEL: 0980-72-3054 (平日のみ / 8:30~17:15)